

令和6年3月28日

厚生労働省 医政局 医事課
試験免許室 御中

一般社団法人 日本作業療法士協会
会長 山本伸一



第59回作業療法士国家試験問題について（追加意見）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当協会の活動にご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、2月18日に実施されました第59回作業療法士国家試験問題につきまして、令和6年2月27日に「用語や設問の表現が不適切であり選択肢の理解に戸惑う問題」として具申させていただきました以下の問題について、改めて複数の養成校より、意見が届いておりますので別紙に内容を記載し、併せて具体的な理由を付記いたしました。

ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

謹 白

記

- ・ 午後 問題番号 (79)

第 59 回作業療法士国家試験午後第 79 問について

当協会としては、2月27日提出の意見書にて、「用語や設問の表現が不適切で選択肢の理解に戸惑う問題」として具申させていただきましたが、改めて複数の養成校より、意見が届いておりますので解説を添えて、お知らせいたします。

(2) その他の意見で具申した問題

午後 問題番号 (79) 指摘校数 : 2

79 無意識の願望と思考を意識的に気付きから排除する防衛機制はどれか。

1. 昇華
2. 統制
3. 抑圧
4. 抑制
5. 歪曲

解説

正答は3. 抑圧とされました。

文献1によれば、「防衛機制」とは、「精神内界の主観的意識的安定を保つ無意識的な自我の働き、つまり「防衛」を目的とする（無意識の）心的機制」を言います。（防衛とは、それを意識することによって、不安、不快、苦痛、罪悪感、恥などを体験するような情動や欲動を意識から追い払い無意識化してしまう自我の働きです。）従って、問題文の前半部分「無意識の願望と思考を意識的に気付きから排除する」は「防衛機制」とは言えず、問題文の前半と後半が矛盾する問題となっています。

尚、文献2には、「意識的随意的努力によって、衝動やそれに伴う感情・思考を意識から前意識へと追いやるもの」は「抑制」で「抑圧は無意識的な機制である」と明記されています。また、文献3においても「抑制は自分にとって不快で嫌な出来事や観念、感情などを意識的に無意識の中に閉じ込めようとすることを言います。抑圧が意識されないなかで行われる過程であるのに比し、抑制は意識された過程であるという違いがあります」と説明されています。

従って、問題文の「意識的に」を無視して、「無意識の願望と思考を気付きから排除する防衛機制はどれか」という問題だと捉えれば回答は「抑圧」になりますが、問題文を「願望と思考を意識的に気付きから排除する防衛機制は何か」という問題だと捉えれば、回答は「抑制」となる可能性があります。

いずれにせよ、問題文として成立していないため、当協会では、「用語や設問の表現が不適切で選択肢の理解に戸惑う問題」として取り上げ具申しました。

尚、類似問題の第55回国家試験午前第78問は、採点除外されておりますことを申し添えます。

文献

1. 加藤正明他：縮刷版 精神医学事典. 弘文堂. p.726, 2001.
2. 加藤 敏 他：現代精神医学事典. 弘文堂. p.1044, 2011.
3. 松下正明：みんなの精神医学用語辞典. 弘文堂. p.252, 2009.